

## 性能及び試験方法

### ■性能及び試験方法

項目		性能	試験方法および条件 (JIS C 5101-1準拠)						
		X5R 特性							
静電容量		許容差以内	CLASS 2 <table border="1"> <tr> <td>公称静電容量</td> <td>測定周波数</td> <td>測定電圧</td> </tr> <tr> <td><math>C \leq 10\mu\text{F}</math></td> <td>1kHz<math>\pm</math>10%</td> <td>1.0<math>\pm</math>0.2Vrms</td> </tr> </table> 測定前に熱処理を行う	公称静電容量	測定周波数	測定電圧	$C \leq 10\mu\text{F}$	1kHz $\pm$ 10%	1.0 $\pm$ 0.2Vrms
公称静電容量	測定周波数	測定電圧							
$C \leq 10\mu\text{F}$	1kHz $\pm$ 10%	1.0 $\pm$ 0.2Vrms							
誘電正接		10%以下							
耐電圧		絶縁破壊および破損のないこと	印加電圧 : 1~5秒間 シリコンオイル中で印加 (W.V.630V以上) 充放電電流 : 50mA以下 印加電圧 : 定格電圧 $\times$ 250%						
絶縁抵抗		10,000M $\Omega$ または500M $\Omega$ $\cdot$ $\mu\text{F}$ のいずれか小さい方の値以上	印加電圧 : 定格電圧 印加時間 : 1分間						
固着性	ワイヤーボンディング	0.03N以上	$\Phi$ 25 $\mu$ のAuワイヤーにてボンディング実装を行った後ワイヤーを引っ張り強度を測定する						
温度 サイクル	外観	著しい機械的損傷がないこと	常温 $\rightarrow$ 最低使用温度 $\rightarrow$ 常温 $\rightarrow$ 最高使用温度 3分 $\rightarrow$ 30分 $\rightarrow$ 3分 $\rightarrow$ 30分 上記1~4段階の温度に順次放置し1サイクルとする この操作を5サイクル繰り返す						
	静電容量変化率	$\pm$ 7.5%以下							
	Qおよび誘電正接	初期値を満足すること							
	絶縁抵抗	初期値を満足すること							
	耐電圧	絶縁破壊および破損のないこと							
耐湿負荷	外観	著しい機械的損傷がないこと	電圧処理を行う。 試験温度: 40 $\pm$ 2 $^{\circ}\text{C}$ 相対湿度: 90~95%RH 試験電圧: 定格電圧 試験時間: 500時間						
	静電容量変化率	$\pm$ 12.5%以下							
	Qおよび誘電正接	初期値の2倍以下							
	絶縁抵抗	10M $\Omega$ 以上							
高温負荷	外観	著しい機械的損傷がないこと	電圧処理を行う。 試験温度: 85 $\pm$ 3 $^{\circ}\text{C}$ 試験電圧: 定格電圧 $\times$ 150%の直流電圧 試験時間: 1000時間 * 試験条件は品種ごとに異なります。 詳細は個別の仕様書をご確認ください。						
	静電容量変化率	$\pm$ 12.5%以下							
	Qおよび誘電正接	初期値の2倍以下							
	絶縁抵抗	10M $\Omega$ 以上							

注1: 品種により性能仕様が異なります。詳細は個別の仕様書をご確認ください

注2: 熱処理は150 $\pm$ 0/-10 $^{\circ}\text{C}$ にて1時間後、室温中に取り出し48 $\pm$ 4時間放置する

注3: 電圧処理は試験条件に規定されている条件にて1時間処理後、室温中に取り出し48 $\pm$ 4時間放置する